

子どもの貧困問題に対処する自立支援員を配置し、子ども食堂等の居場所づくりを継続して進め、さらに学校や地域、企業などと連携して、社会全体に子ども達への支援の輪が広がるよう、取り組んでまいります。

妊産婦から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う子育て世代包括支援センターを設置します。

本市の健康課題である、肥満、多量飲酒と飲酒の習慣化、喫煙、生活習慣病の重症化の予防等に取り組み、平均寿命や健康寿命の延伸に努めてまいります。特に、働き盛り世代が職場や地域で自主的に健康づくりを行い、特定健診を受診して、生活習慣病や早世の予防につながるよう支援を行います。

また、健康づくりの一環として、「ひやみかちはウォーク」を引き続き開催していきます。

糖尿病等の重症化予防の取り組みに向け、CKD登録医をはじめとするかかりつけ医等と連携を図り、人工透析への移行を防止する取り組みを強化します。

また、小児医療や救急医療等、地域の中核病院である那覇市立病院の現在地での建て替えに着手します。

食生活、生活及び保健衛生の監視指導を行い、衛生管理の向上に努めていきます。

感染症等、市民の生命・健康を脅かす事態に対して、拡大防止、治療等に関する業務を円滑に行っていくきます。また、平常時から、健康危機管理対策の連絡会議等を開催し、関係団体と連携を図ってまいります。

次世代の未来を拓き、豊かな学びと文化が薫る誇りあるまち NAHA

新たに、潜在保育士の認可保育園等への就職を促すため、就職応援祝い金を支給するほか、正規雇用化の促進や賃金等の処遇改善を通して、保育士確保を図り、待機児童解消につなげていきます。

また、放課後児童クラブについても施設の拡大を図るとともに、クラブへの補助を通して、児童支援員の賃金等の処遇改善を図ります。

子育て世帯の支援として、こども医療費助成事業では、病院の窓口で現金を支払う必要がない現物給付方式の10月導入を目指して準備を進めます。

小学校新入学児童のいる、生活に困窮する世帯に対し、ランドセル等の学用品を購入するための準備金を、入学前に援助します。

成績優秀で意欲があるにも関わらず、経済的理由で県内大学等への進学が困難な学生に対し、進学及び修学を支援するため、入学支度金及び授業料を全額給付する、本市独自の給付型奨学金を創設いたします。

こどもの貧困対策に活用する「こどものみらい応援プロジェクト推進基金」に、市民への幅広い協力を呼びかけるとともに、本市としても1億円を積み立てます。

自らの力で未来を拓く子ども達を応援するまちづくり

本市の児童生徒の学力は、小中一貫教育を柱とした授業改善等の取り組みにより向上が図られています。今後は、地域等との連携をさらに進め、人間性豊かな人材育成を目指します。

全中学校区に子ども寄添支援員を派遣し、貧困家庭の児童生徒への細やかな支援を行います。また、不登校の児童生徒には、学校や家庭と連携し、アウトリーチを行うなど、こども達の状況に応じた支援に取り組めます。

学校施設については、要望が大きいトイレの洋式化や遊具の改修を着実に進めるとともに、引き続き校舎の耐震化や改築事業を行います。

生涯学習を推進し、地域の教育力を向上させるまちづくり 真和志南地区に、人材の育成と地域コミュニティの拠点施設として、「活き活き人材育成支援施設(仮称)」の整備を継続してまいります。

小学校等が、地域の人々や団体等をつなぐ場、子育て・健康・福祉サービスを行う等のコミュニティの拠点の場となるよう、学校のオープン化を進めます。

郷土の歴史、伝統文化・芸能にふれあい、新たな文化を創造するまちづくり 伝統文化を継承し、市民の芸術活動の拠点となる新文化芸術発信拠点施設の建設工事に着手し、3年後の開館に向け事業を着実に推進してまいります。

伝統文化の保存・継承・発展と、市民の文化芸術・芸能活動の支援にあたり指針となる、文化振興基本計画の策定に向けた基礎調査を行います。

重要な伝統文化の礎である「しまくとぅば」の保存・継承・発展を図るため、「うちなーぐち講座・成果公演」を実施します。

ヒト・モノ・コトが集い、育ち、ひろがる万国津梁のまち NAHA

ビジネス・リゾートと歴史・文化が融合する観光まちづくり 那覇港へのクルーズ船寄港回数の増加や新規航空路線の就航に伴い、今後も外国人観光客の増加が見込まれることから、その体制整備を目指します。

空港や港などがある本市独自の特性に則した実態調査を行い、災害時の観光客への対応から、災害後の観光産業の回復までの観光危機管理計画(仮)を策定します。

様々な産業が集い、育ち、ひろがるまちづくり 独自の目線・切り口で市内経済産業の振興をアピールすることに特化した「なはけいさいMAGAZINE」の発行を継続します。

中小企業実態調査の結果を踏まえ、本市の「課題」と「効果的な施策」の分析を行い、支援施策を検討します。

企業へ投資が促進されるよう、投資家と企業のマッチング環境整備を行います。また、新商品や新サービス開発を支援し、さらなる経済発展及び雇用創出を図ります。

情報通信関連産業と他産業の融合による高度化を積極的に推進する「沖縄ITイノベーション戦略センター」の設立に参画します。

「魅力的な「うみ業」のまち」の実現に向けた水産振興発展のため、泊を拠点とする漁業関係団体等を行う冷凍冷蔵施設の建設や、漁業関連施設の機能強化を積極的に支援します。

「なはスタートアップサロン(仮称)」を活用し、市民の創業や就業に関する相談、セミナー開催やビジネスマッチング等の支援を行ってまいります。

「働き方改革」を踏まえて、ワークライフバランスの推進や職場環境改善策について、広く周知していきます。

中心市街地を活かしたまちづくり

第一牧志公設市場の賑わいを継続していくため、にぎわい広場に仮設市場を建設するとともに、現在地での新たな市場建設に向けた実施設計を行います。

また、商業の活性化を図るため、従来の中心市街地のみならず、市域全体の商店街や通り会等についても、創意工夫した積極的な取り組みに対し、頑張るマチクワワー等支援基金の活用を通して、支援してまいります。

自然環境と都市機能が調和した住みつけたまち NAHA

地球温暖化対策の一環として、住宅用省エネ設備に対する費用の一部助成を継続して実施します。

好調な経済活動に伴い増加している事業系ごみの分別、資源化など適正処理の指導を継続します。また、家庭から出された紙や缶類等の資源化物の持ち去り防止を徹底し、地域等と協働して、拠点回収を進めます。

自然環境が育まれた那覇らしい亜熱帯庭園都市のまちづくり

市民に自然環境保全の意識を高めてもらうよう、環境啓発事業を推進してまいります。

また、公園遊具の改修を行うとともに、公園ボランティア等、市民の主體的な活動や、民間活力を活かした公園の効果的な整備・再生・活用を進めます。

街路樹の緑化や美化についても、市民や企業ボランティアなどの美化活動との連携を図りながら、観光都市にふさわしい景観づくりに取り組みます。

伝統的な素材である赤瓦屋根や石積みなどの景観をもつ首里地区や壺屋地区において、継続して助成を行い、歴史・文化に彩られた景観づくりを広げていきます。

暮らして良し歩いて楽しい快適なまちづくり

のうれんプラザを核とする、農産物市場地区の再開発事業について、分譲住宅の整備を促進するとともに、道路や市営住宅、保育所の整備を推進します。

平成15年度に事業着手したモノレール旭橋駅周辺地区の再開発事業は、8月に完成を予定しており、新たなバスターミナルとモノレール駅の交通結節点として、機能強化を図ります。

沖縄都市モノレール延長事業については、次年度の開業を目指し、石嶺駅舎及び周辺の整備に取り組めます。

密集住宅市街地の再生に向けた基礎調査に引き続き取り組み、中心市街地へのまちなか居住などを推進してまいります。

石嶺、宇栄原、大名の各市営住宅の建替工事を継続するとともに、真地市営住宅の建替に向けた基本設計を実施します。

動物愛護管理思想の普及啓発を図り、飼い主のいない猫への不妊去勢手術の実施をとおし、生活環境悪化の低減に努めます。

災害に強い都市基盤の整備で安全安心のまちづくり

橋梁やモノレールインフラ等の長寿命化修繕計画に基づき、効率的な予防対策を行います。

交通渋滞の緩和や歩行空間の確保等、安全安心で快適な道路整備を行うために、一銀線を含む都市計画道路7路線の事業を進めてまいります。

水道水の安定供給のため、強靱な水道を目指し、水道施設の耐震化を引き続き推進します。

公共下水道の整備による生活環境の改善及び浸水被害の軽減を図るため、汚水未普及地区の解消、首里石嶺町4丁目地区の雨水調整池の整備、下水道ストックマネジメント計画の策定などを進めます。

今後も施設の延命化等を図りながら、災害に強いまちづくりの形成に取り組んでまいります。

那覇の魅力と特性を活かした土地利用を進めるまちづくり

まちづくりの基本的な方針である都市計画マスタープランについては、専門家や市民の意見を取り入れながら、改定作業を進めるとともに、立地適正化計画についても、策定に向け取り組みます。

那覇軍港の跡地利用については、地主会等と連携しながら、跡地利用計画の策定を進めてまいります。

市民との信頼を深め、効果的に行政財政運営を行う

市民との信頼を深める職員の育成と組織づくり 那覇市人材育成基本方針に基づき、知識や技能等の能力開発を図り、社会変化に対応できる職員を育成します。

オンラインで利用できる行政サービスの周知や利用を促進し、新たなサービスの導入検討、拡大を図ります。

庁内組織においては、新たに「都市みらい部」と「まちなみ共創部」を再編設置し、都市機能を適正に誘導し、経済活動を活性化させるなど、より効果的に施策を実施してまいります。

また、防災や国民保護法に定められた危機管理に対応するため、総務部内に「防災危機管理課」を新設します。

効果的に行政財政運営を行う マイナンバードで、住民票の写しや税証明書等の交付が、コンビニで取得できるサービスを継続します。

また、組織目標を活用した事業の進捗管理を行うといった、施設更新時においては、適切な規模の見直しを行うなどファシリタティマネジメントの視点をもち、行政財政運営の効率化を図ってまいります。

結びに あじまあの創出
那覇大綱挽きの舞台となる久茂地交差点。世代を超え、様々な人々が力の限り大綱を挽き合う光景は、圧巻そのものであり、見る人を魅了してやみません。
交差点は、しまくとぅばでは「あじま」といいます。そこに引き寄せられるかのように人々が集い、一体となり、大きな力を生み出す様子を見るに付け、私は、「あじま」とは、ヒトとヒトが会い、ヒトとモノが集まり、そして、新しいコトが生まれる場所ではないかと感じています。
市民の持つ力が輝くために市政はどのような役割を果たすべきでしょうか。私は、その役割は、市民の持つ力、その可能性に想いを馳せ、まちづくりのプロセスのひとつひとつに「あじま」を創りだし、新しいコトが生み出される準備をしていく、これに尽きるのではないかと思います。
出来上がった「あじま」で市民が出会い、集まり、それぞれの次の未来へ踏み出していく。そのようなイメージを胸に刻み、引き続き、市民の皆様から寄せられる期待に応えるべく、市政運営に臨む決意であります。
市民の皆様、並びに議員各位のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。私の施政方針の結びの言葉といたします。
いっぺー にふえーでーびる。
那覇市長 城間 幹子